

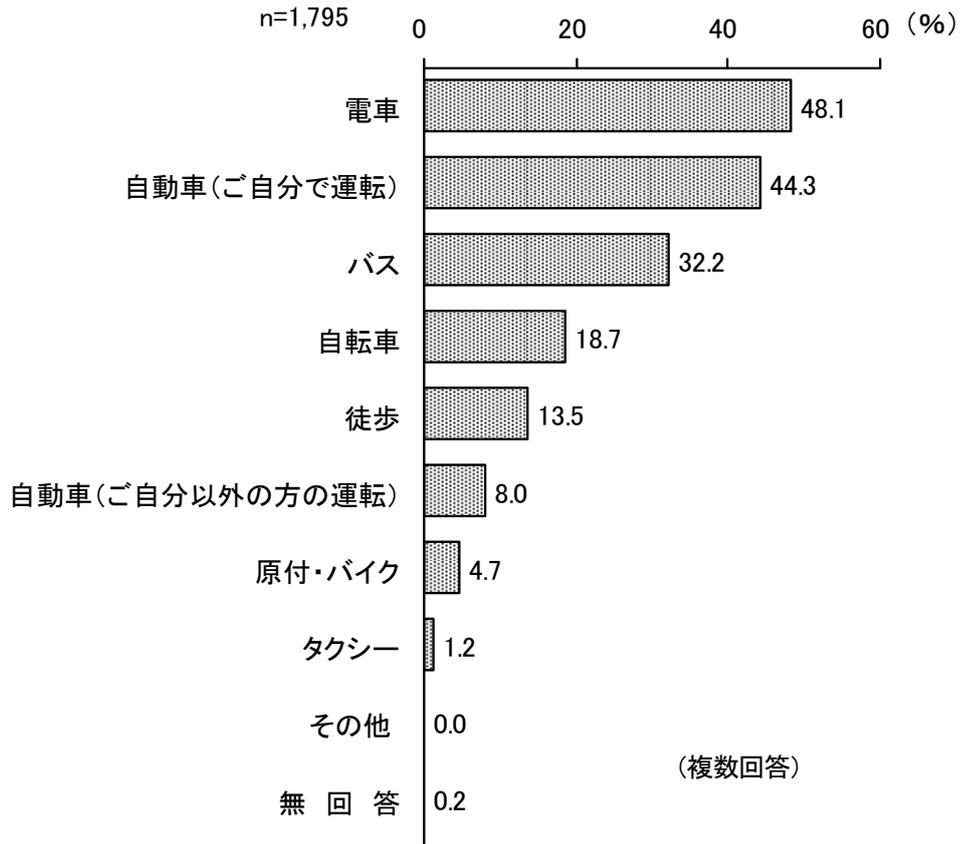
## 5. 公共交通

### 5-1 日頃利用する交通手段

◇「電車」が5割弱、ついで「自動車（ご自分で運転）」が4割台半ば

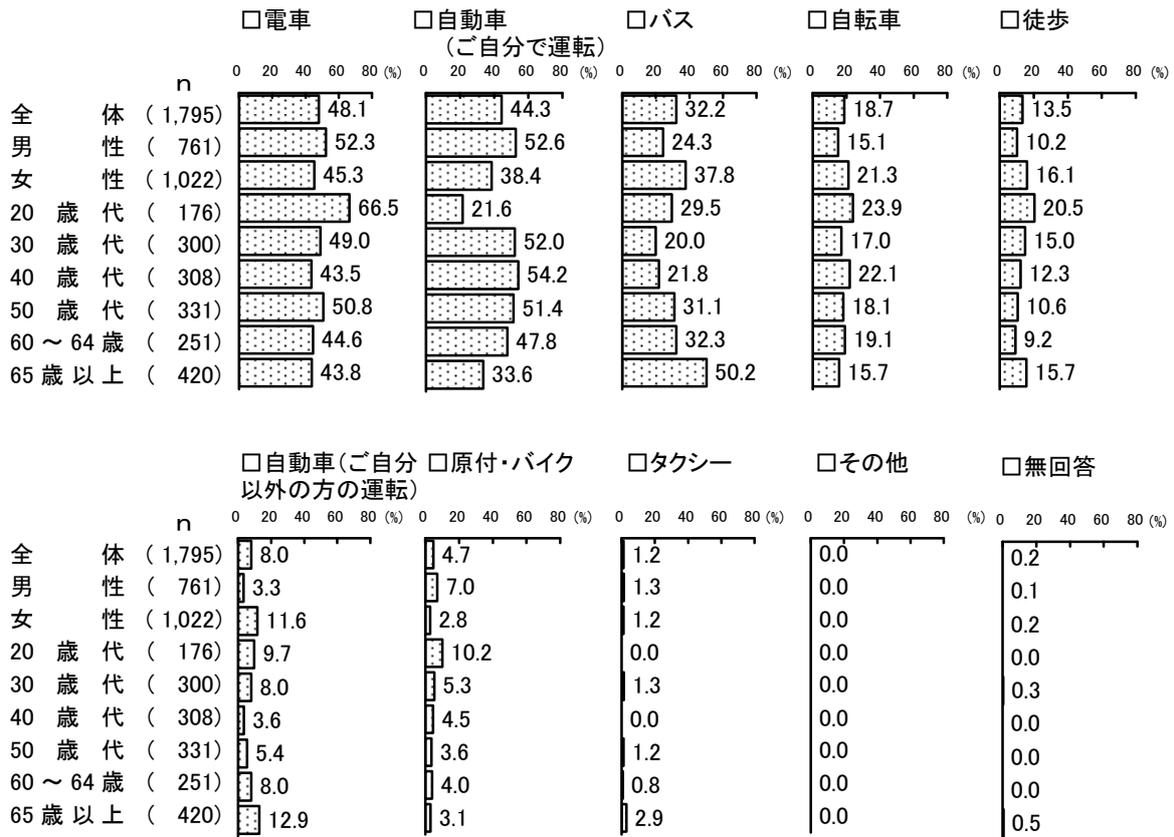
問15 あなたは日常、主にどのような交通手段を利用していますか。（〇は2つまで）

図5-1-1



日頃、主にどのような交通手段を利用しているかについて聞いたところ、「電車」が5割弱（48.1%）と最も高く、ついで「自動車（ご自分で運転）」（44.3%）、「バス」（32.2%）、「自転車」（18.7%）、徒歩（13.5%）と続いている。（図5-1-1）

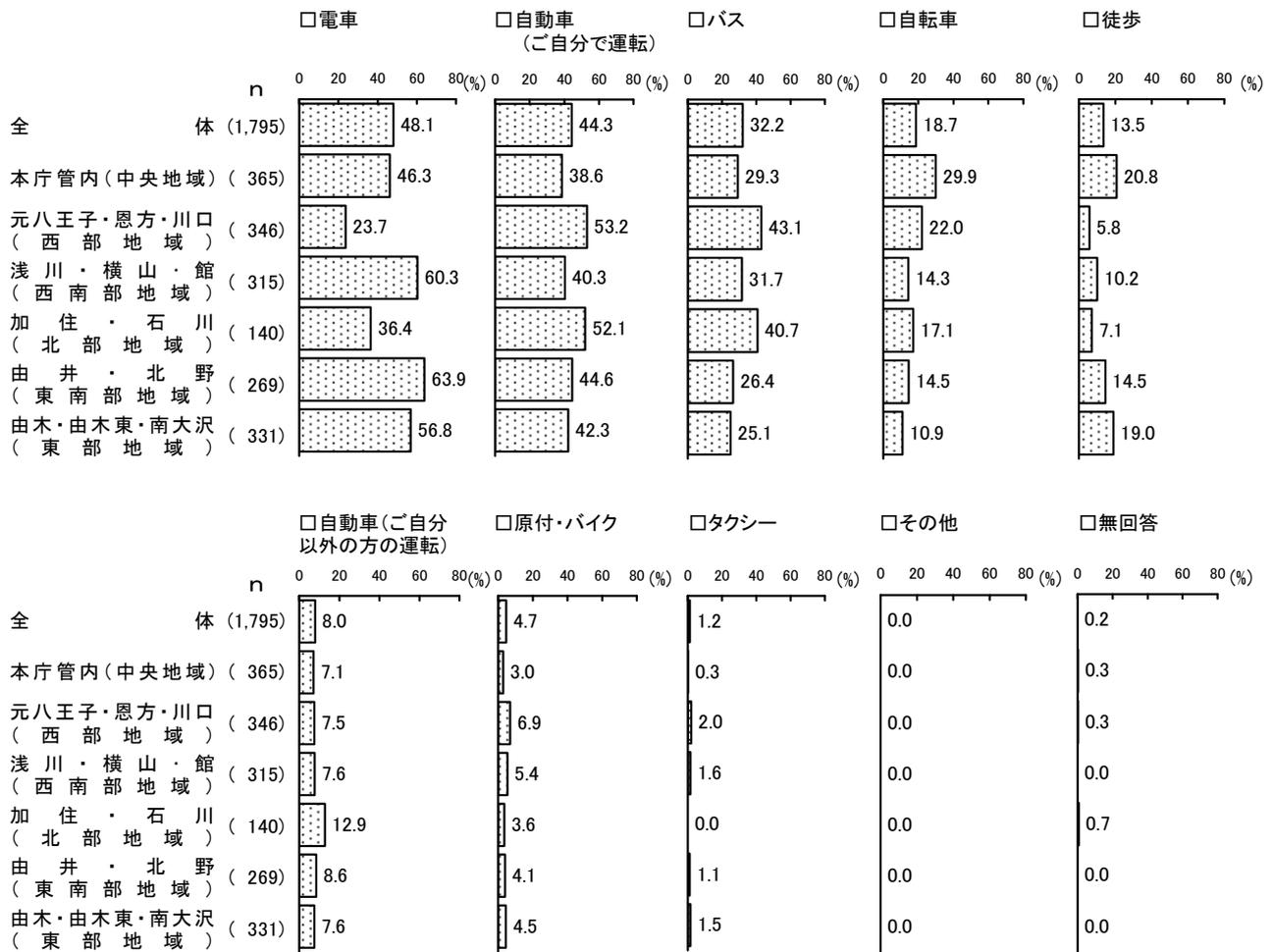
図5-1-2 日頃利用する交通手段—性別・年齢別



性別にみると、「自動車（ご自分で運転）」は14.2ポイント、「電車」は7.0ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。「バス」は13.5ポイント、「自転車」は6.2ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

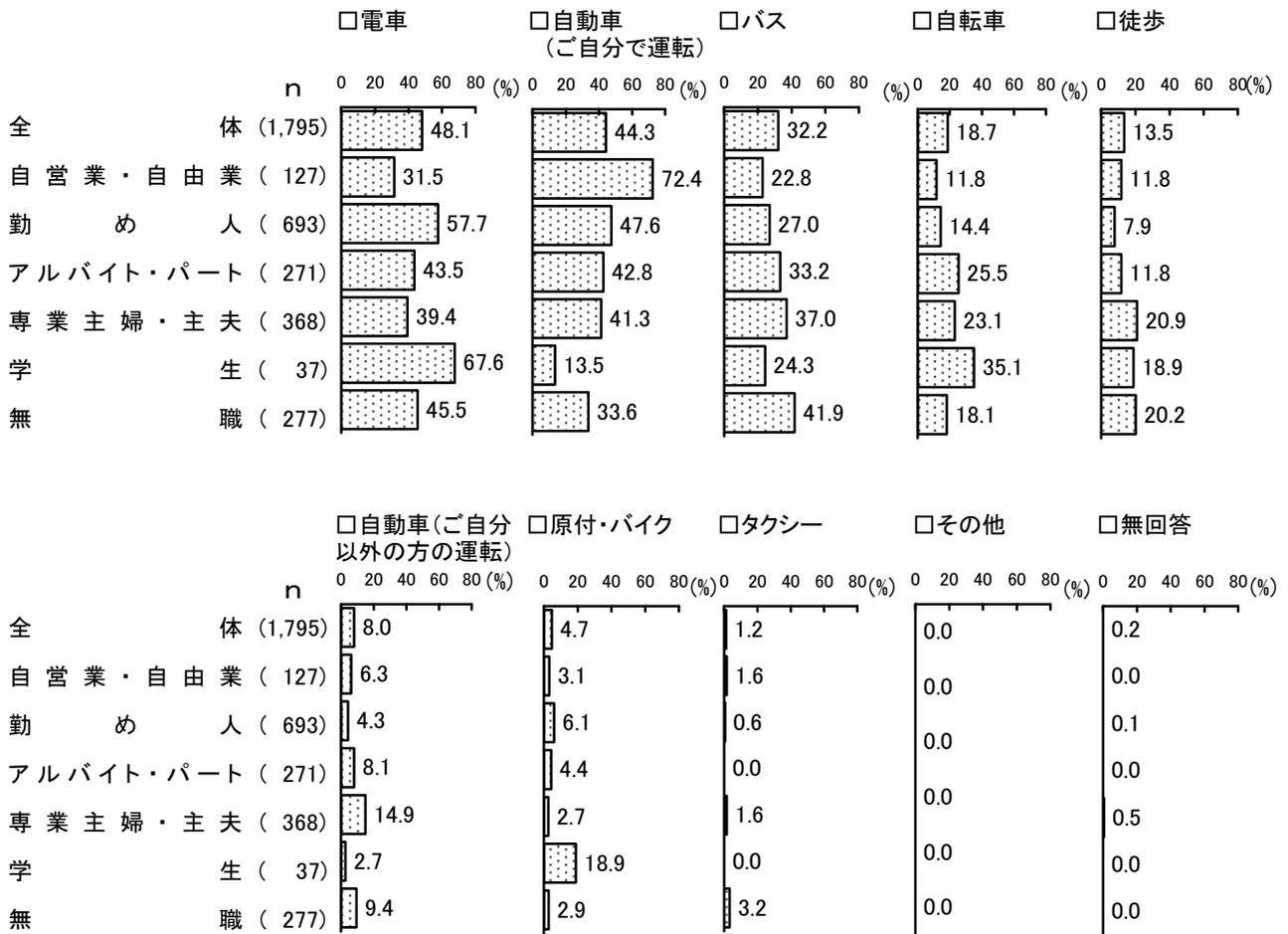
年齢別にみると、「電車」は20歳代で7割弱（66.5%）と、他の年代と比べて高くなっている。「自動車（ご自分で運転）」は、40歳代で5割台半ば（54.2%）と最も高く、30歳代～50歳代で5割を超えている反面、20歳代が最も低く2割強（21.6%）となっている。「バス」は65歳以上でほぼ5割（50.2%）と高い利用となっている。（図5-1-2）

図5-1-3 日頃利用する交通手段—居住地域別



居住地域別にみると、「電車」は由井・北野（東南部地域）と浅川・横山・館（西南部地域）で6割を超えて高くなっている。「自動車（ご自分で運転）」は元八王子・恩方・川口（西部地域）と加住・石川（北部地域）で5割を超えて高くなっている。なお、「バス」についてもこの両地域は4割を超え、他の地域と比べて高くなっている。（図5-1-3）

図5-1-4 日頃利用する交通手段—職業別



職業別にみると、「電車」は学生が7割弱（67.6%）と最も高く、ついで勤め人が6割弱（57.7%）と高くなっている。「自動車（ご自分で運転）」は自営業・自由業が7割強（72.4%）と高く、「バス」は無職が4割強（41.9%）、「自転車」は学生が3割台半ば（35.1%）と比較的高くなっている。（図5-1-4）

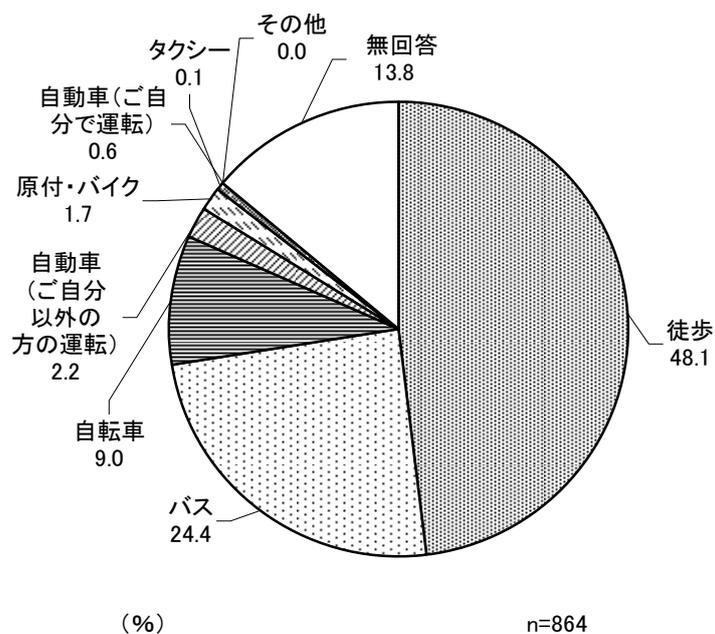
## 5-2 駅までの主な交通手段

◇「徒歩」が5割弱

(問15で「電車」とお答えの方に)

問15-1 駅までは主にどのような交通手段を利用していますか。(○は1つだけ)

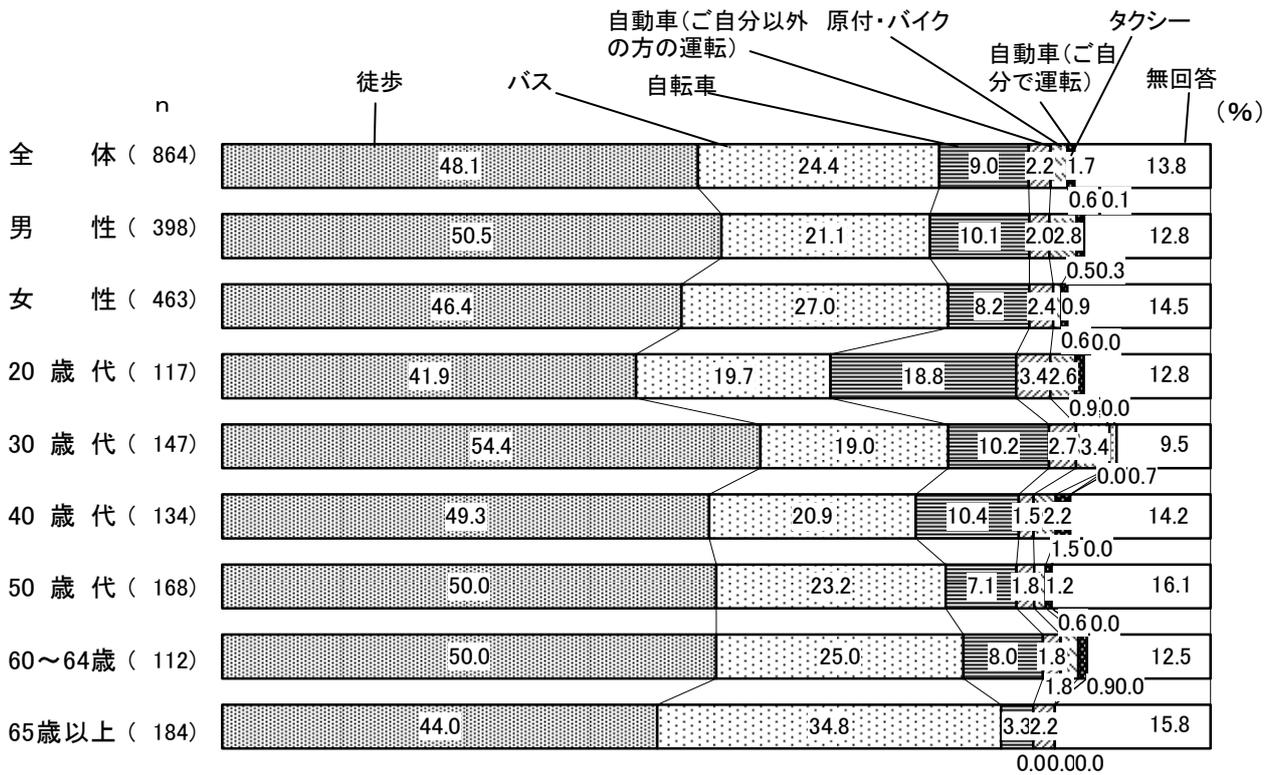
図5-2-1



日頃利用する交通手段で「電車」と答えた人(864人)に、駅までの主な交通手段について聞いたところ、「徒歩」が5割弱(48.1%)と最も高く、ついで「バス」(24.4%)、「自転車」(9.0%)と続いている。

(図5-2-1)

図5-2-2 駅までの主な交通手段—性別・年齢別

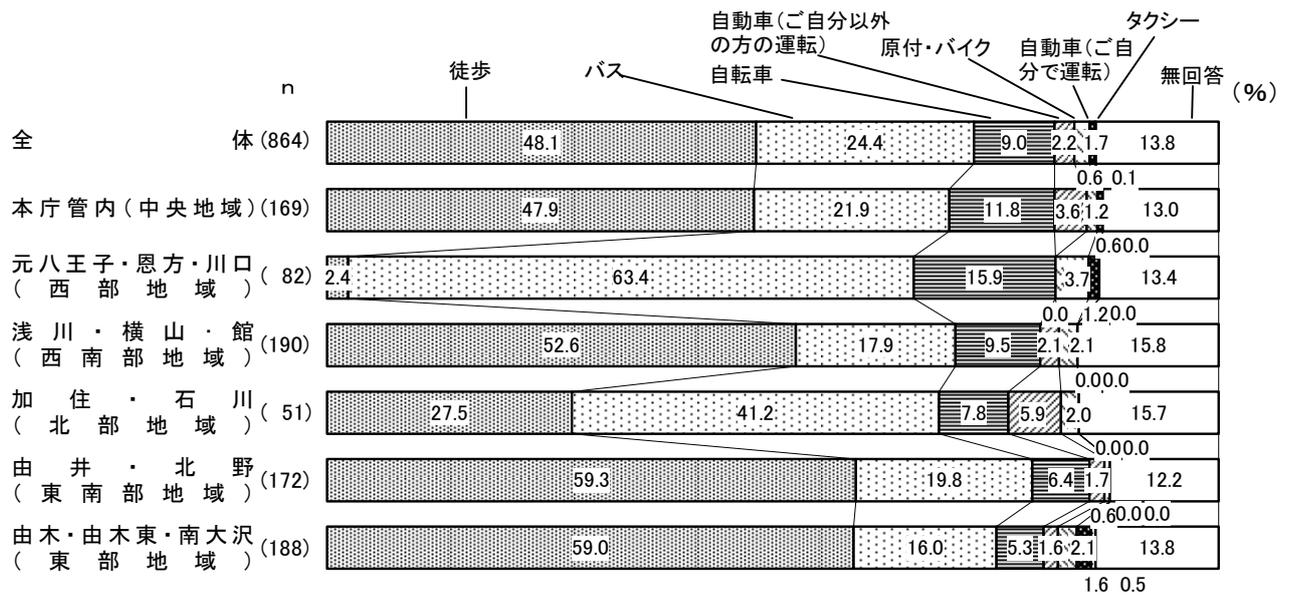


性別にみると、「徒歩」は男性のほうが4.1ポイント高く、「バス」は女性のほうが5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「徒歩」は30歳代で5割台半ば(54.4%)で、他の年代と比べて高くなっている。「バス」は65歳以上で3割台半ば(34.8%)と高く、「自転車」は20歳代で2割弱(18.8%)と高くなっている。

(図5-2-2)

図5-2-3 駅までの主な交通手段—居住地域別



居住地域別にみると、浅川・横山・館(西南部地域)、由井・北野(東南部地域)、由木・由木東・南大沢(東部地域)では「徒歩」が5割を超えているのに対し、元八王子・恩方・川口(西部地域)では「バス」が6割強(63.4%)と高くなっている。加住・石川(北部地域)でも「バス」(41.2%)のほうが「徒歩」(27.5%)よりも高くなっている。(図5-2-3)

### 5-3 電車、バスなどの公共交通機関を利用する理由

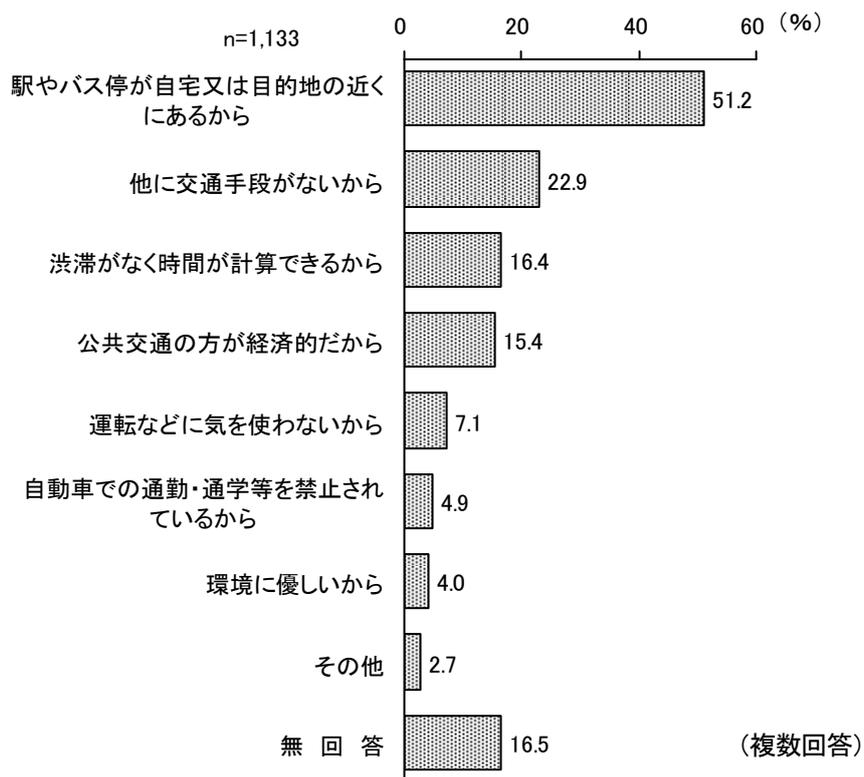
◇「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」が5割強

(問15で「電車」または「バス」とお答えの方に)

問15-2 あなたが交通手段として電車、バスなどの公共交通を利用する理由は何ですか。

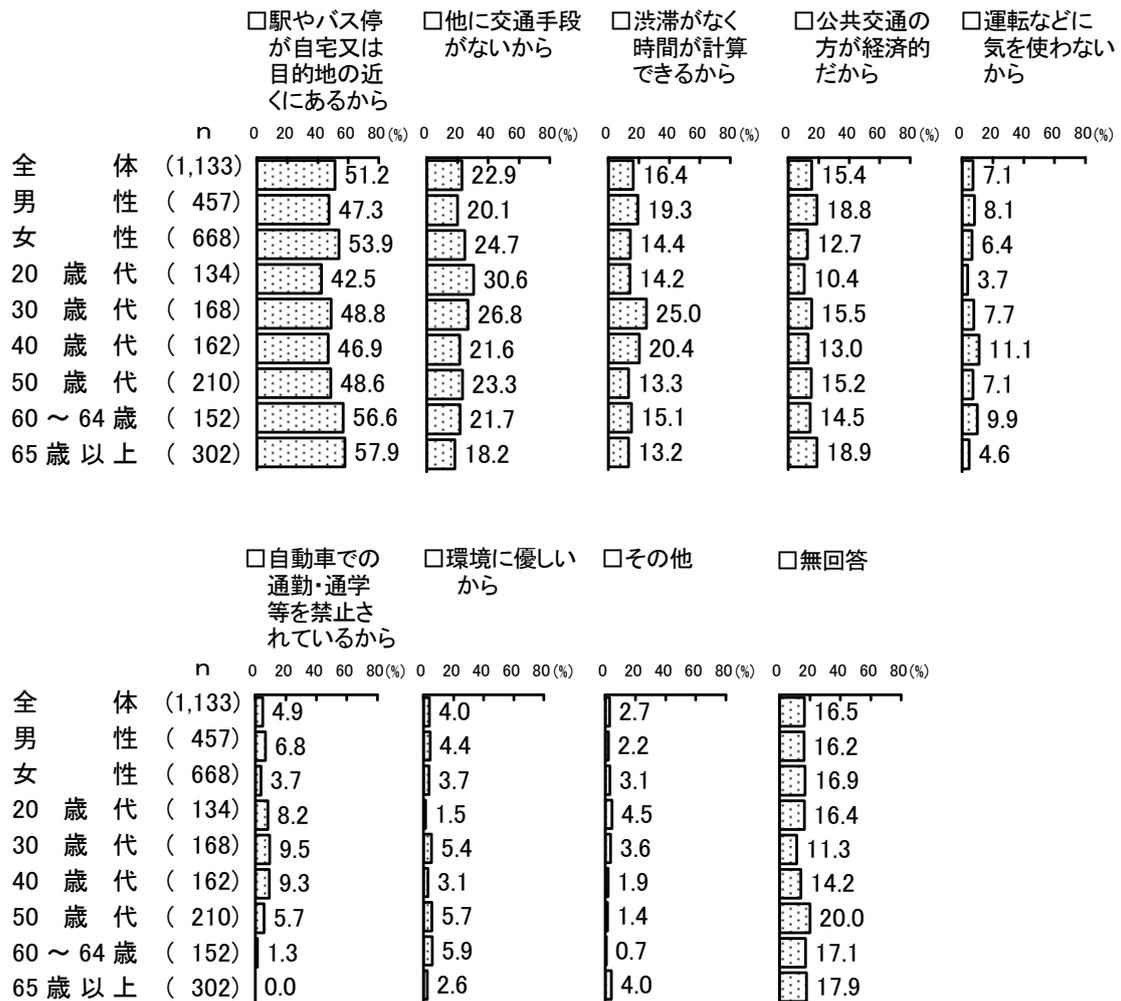
(○は2つまで)

図5-3-1



日頃利用する交通手段で「電車」あるいは「バス」と答えた人(1,133人)に、電車、バスなどの公共交通機関を利用する理由について聞いたところ、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」が5割強(51.2%)と最も高く、ついで「他に交通手段がないから」(22.9%)、「渋滞がなく時間が計算できるから」(16.4%)、「公共交通の方が経済的だから」(15.4%)と続いている。(図5-3-1)

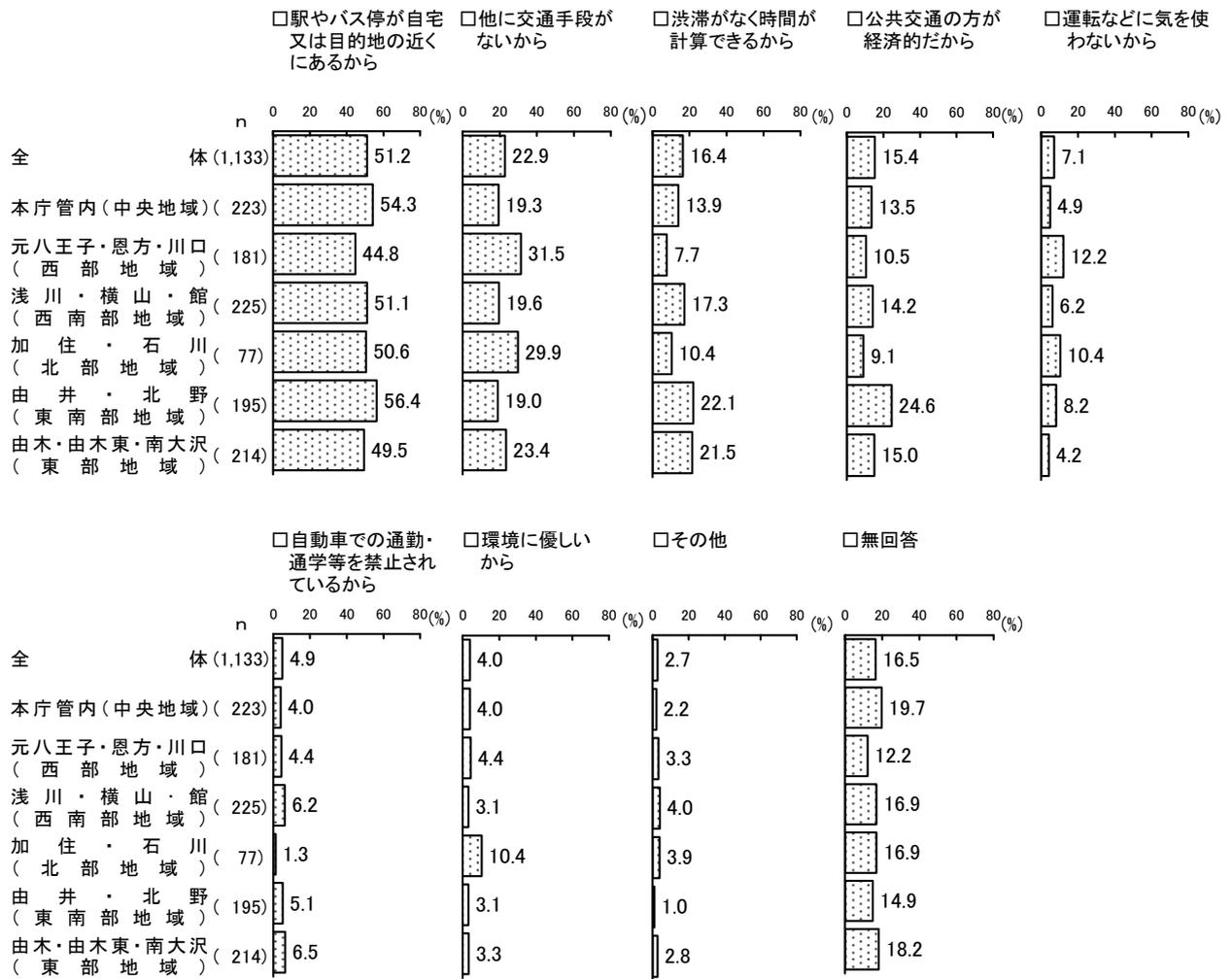
図5-3-2 電車、バスなどの公共機関を利用する理由—性別・年齢別



性別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は6.6ポイント、「他に交通手段がないから」は4.6ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。「公共交通の方が経済的だから」は6.1ポイント、「渋滞がなく時間が計算できるから」は4.9ポイント、それぞれ男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は60歳以上では6割弱を占め、「他に交通手段がないから」は20歳代でほぼ3割（30.6%）と高くなっている。（図5-3-2）

図5-3-3 電車、バスなどの公共機関を利用する理由—居住地域別



居住地域別にみると、「駅やバス停が自宅又は目的地の近くにあるから」は由井・北野（東南部地域）で6割弱（56.4%）、「他に交通手段がないから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で3割強（31.5%）と、他の地域と比べてやや高くなっている。（図5-3-3）

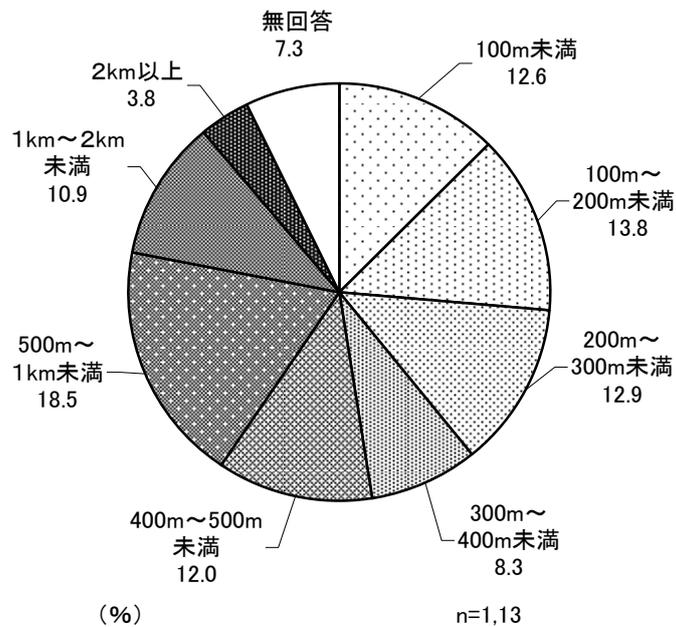
#### 5-4 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離

◇「500m～1km未満」が2割弱

(問15で「電車」または「バス」とお答えの方に)

問15-3 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離はどれくらいですか。(○は1つだけ)

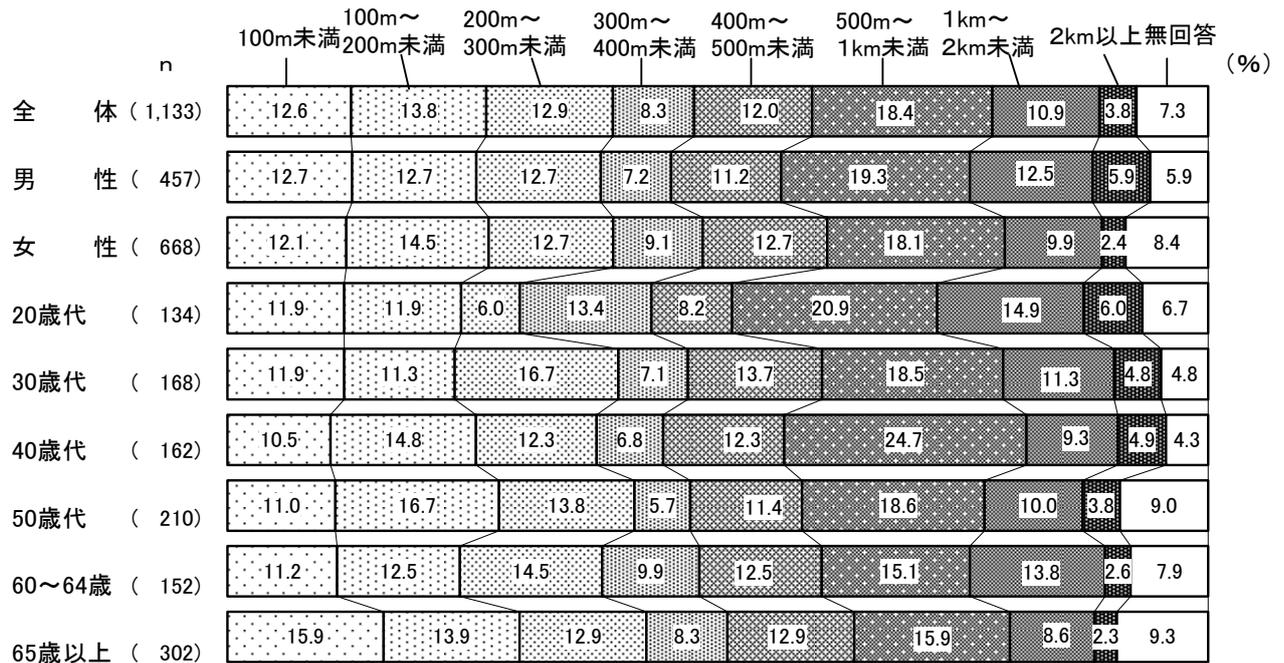
図5-4-1



日頃利用する交通手段で「電車」あるいは「バス」と答えた人(1,133人)に、自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離について聞いたところ、「500m～1km未満」が2割弱(18.4%)と最も高く、ついで「100m～200m未満」(13.8%)、「200m～300m未満」(12.9%)、「100m未満」(12.6%)と続いている。

(図5-4-1)

図5-4-2 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離—性別・年齢別

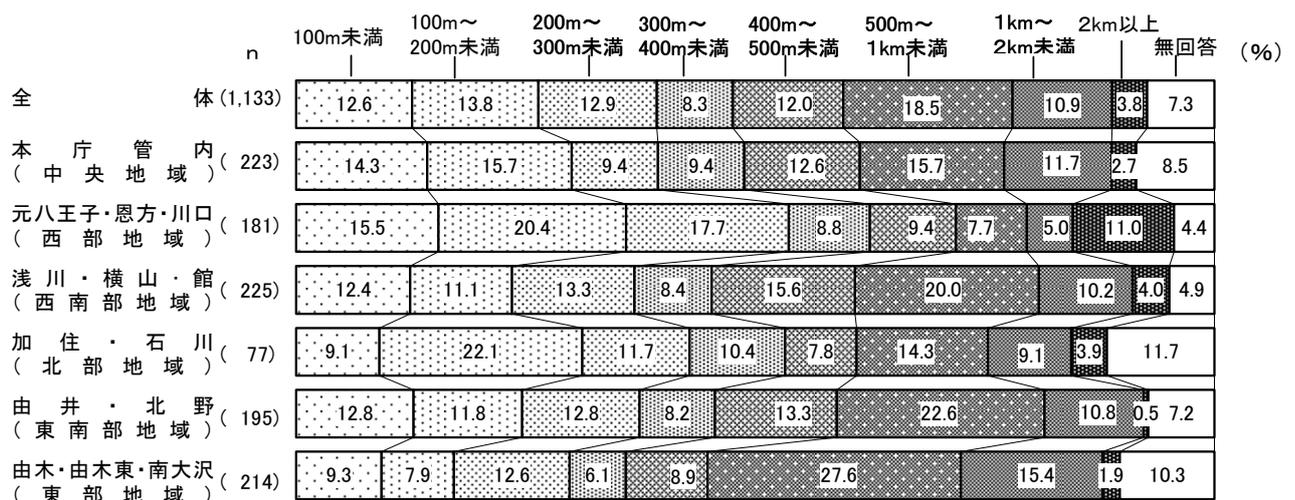


性別にみると、「1km~2km未満」と「2km以上」を合わせた『1km以上』の割合は、男性のほうが6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『1km以上』の割合は20歳代でほぼ2割(20.9%)とやや高くなっている。

(図5-4-2)

図5-4-3 自宅から最も近い鉄道駅又はバス停までの距離—居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口(西部地域)は「100m未満」「100m~200m未満」「200m~300m未満」を合わせた『300m未満』が5割強(53.6%)と高いものの、「2km以上」についても1割強(11.0%)と高くなっている。(図5-4-3)

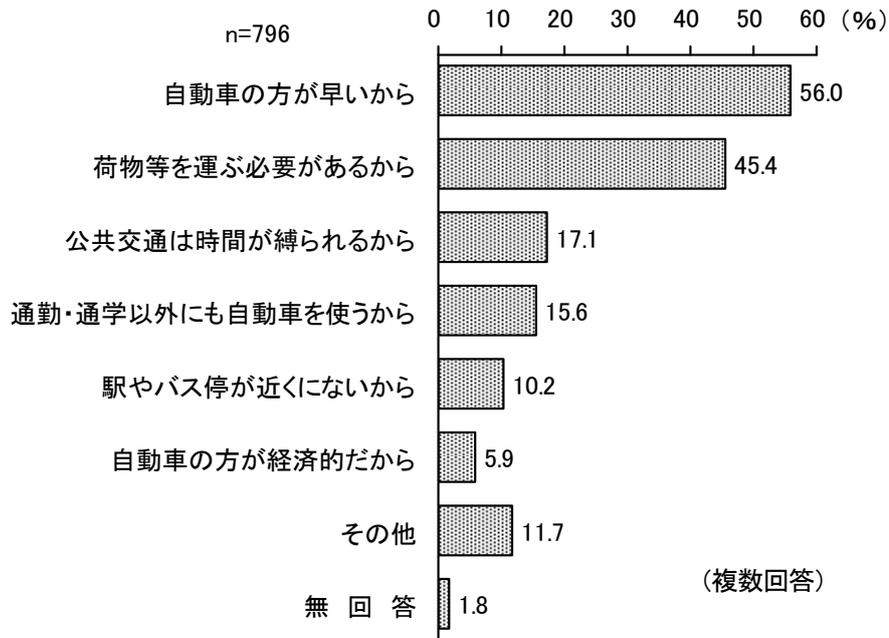
### 5-5 交通手段として自動車を利用する理由

◇「自動車の方が早いから」が6割弱、ついで「荷物等を運ぶ必要があるから」が4割台半ば

(問15で「自動車(ご自分で運転)」とお答えの方に)

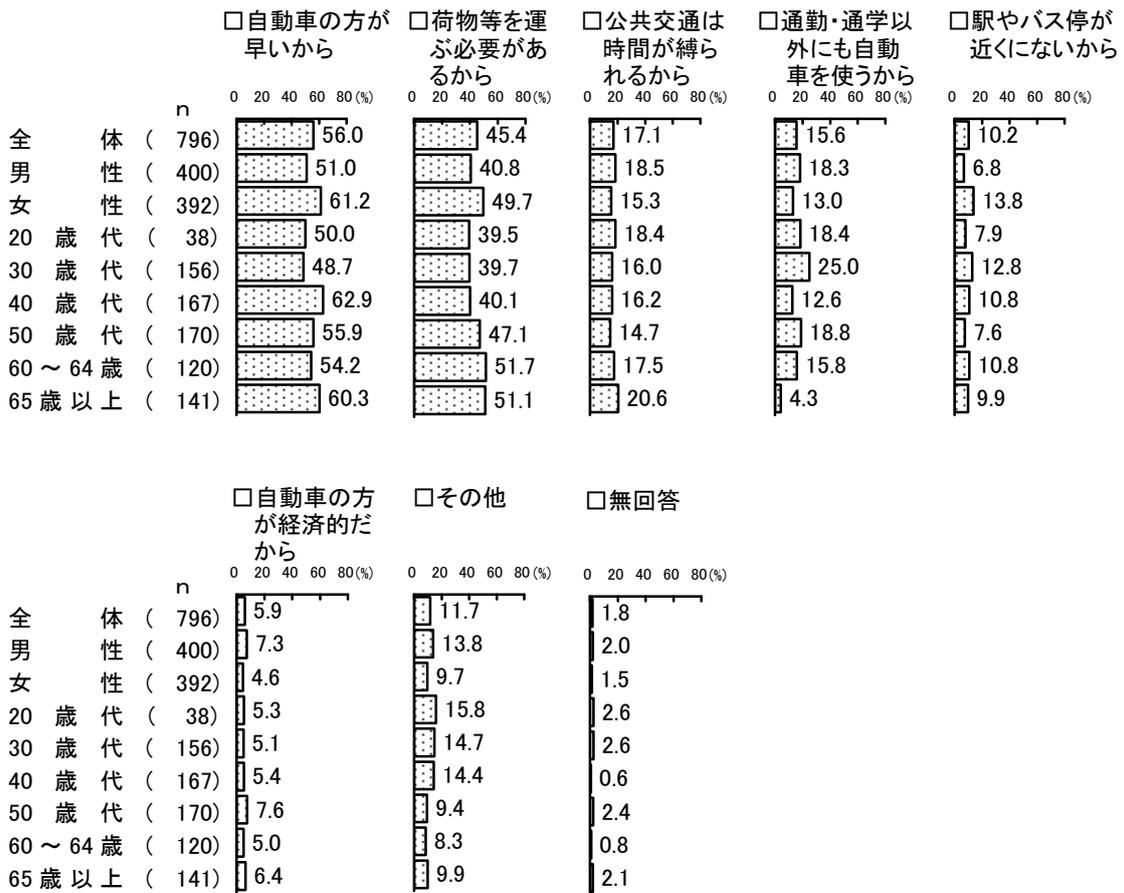
問15-4 あなたが交通手段として自動車を利用する理由は何ですか。(○は2つまで)

図5-5-1



日頃利用する交通手段で「自動車(ご自分で運転)」と答えた人(796人)に、交通手段として自動車を利用する理由について聞いたところ、「自動車の方が早いから」が6割弱(56.0%)と最も高く、ついで「荷物等を運ぶ必要があるから」(45.4%)、「公共交通は時間が縛られるから」(17.1%)、「通勤・通学以外にも自動車を使うから」(15.6%)と続いている。(図5-5-1)

図5-5-2 交通手段として自動車を利用する理由—性別・年齢別

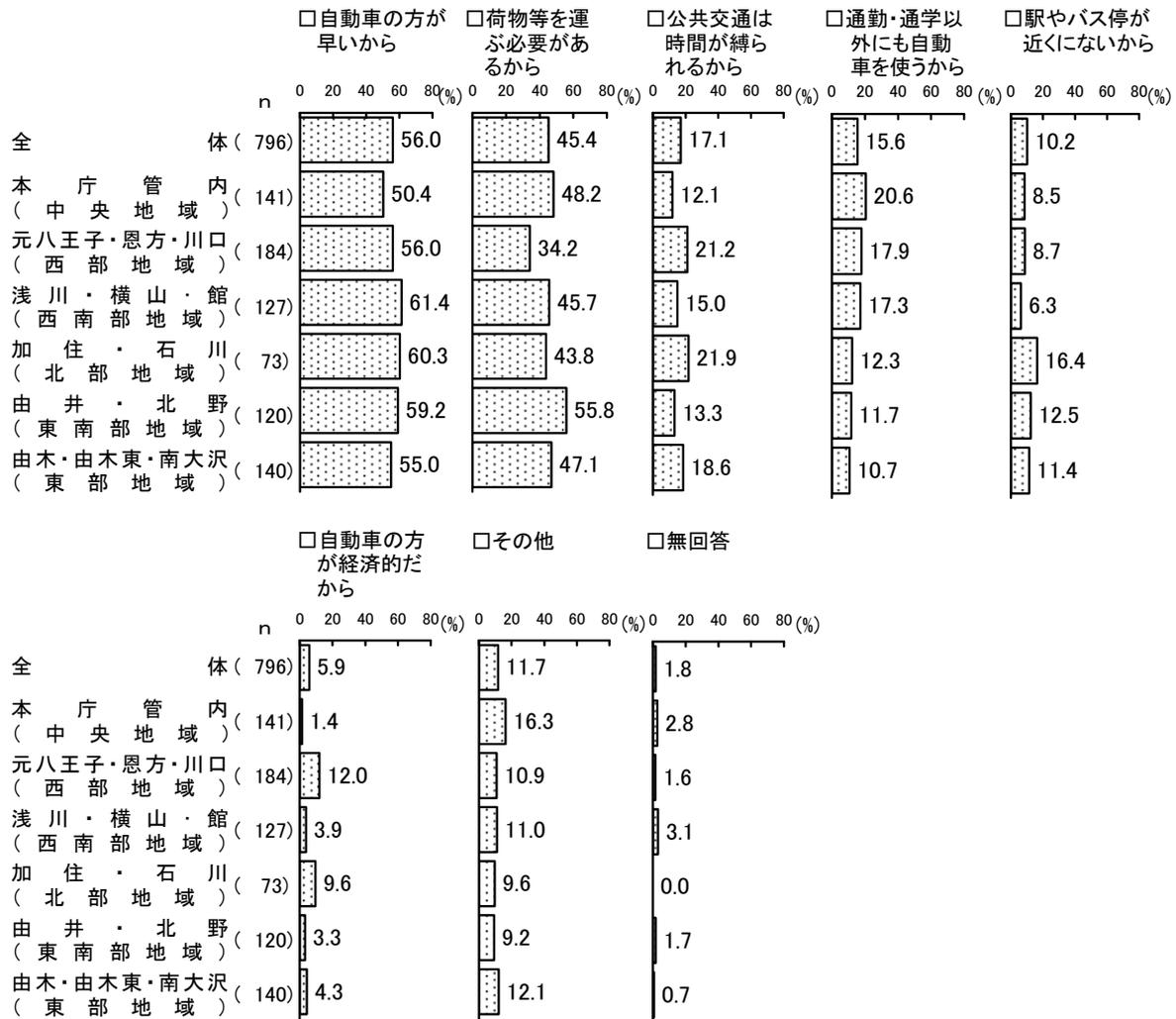


性別にみると、「自動車の方が早いから」は10.2ポイント、「荷物等を運ぶ必要があるから」は8.9ポイント、それぞれ女性の方が高い。逆に「通勤・通学以外にも自動車を使うから」は5.3ポイント、「公共交通機関は時間が縛られるから」は3.2ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「自動車の方が早いから」は40歳代以上では5割を超え、40歳代は6割強（62.9%）と最も高くなっている。「荷物等を運ぶ必要があるから」は60歳以上で5割強と高くなっている。

(図5-5-2)

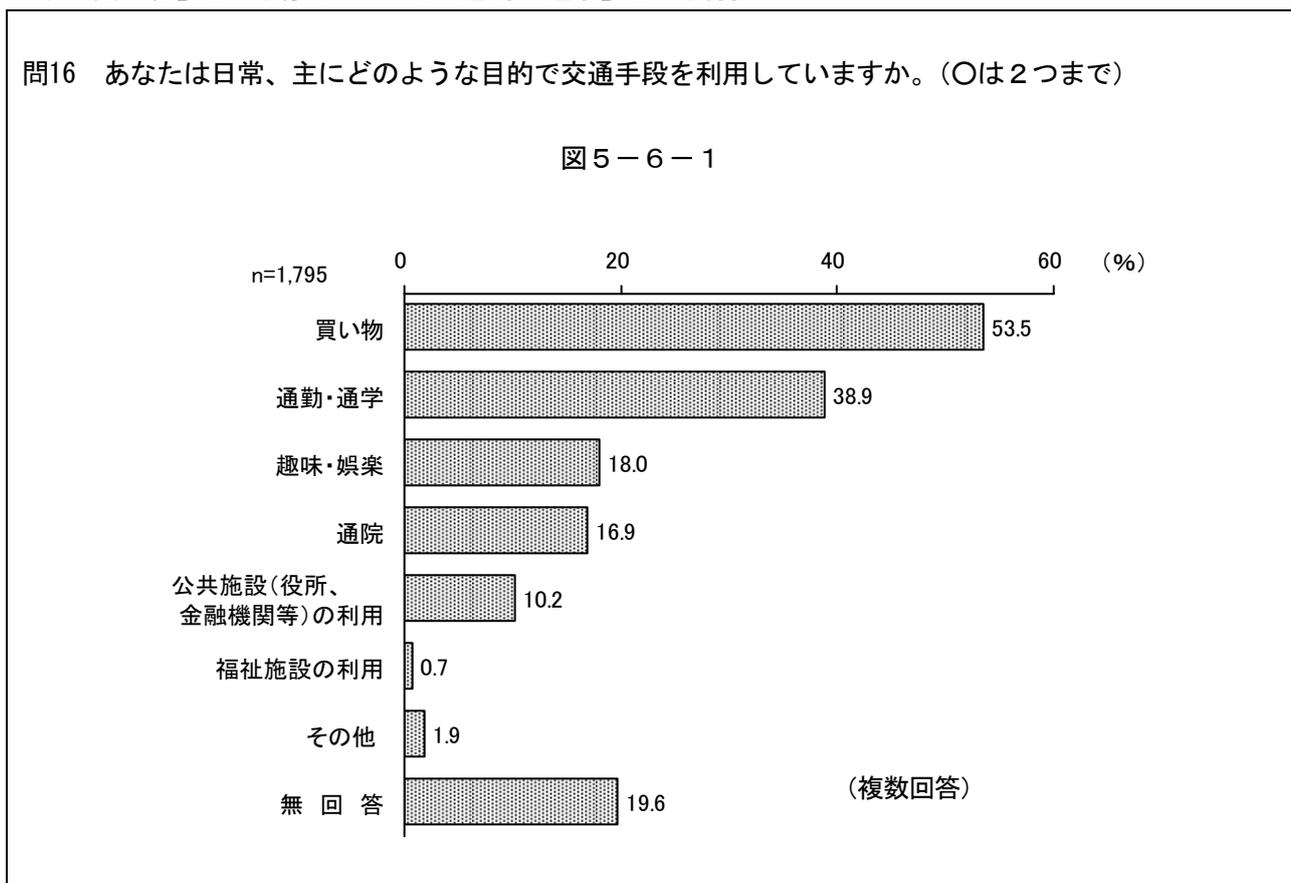
図5-5-3 交通手段として自動車を利用する理由—居住地域別



居住地域別にみると、「自動車が早いから」は浅川・横山・館（西南部地域）と加住・石川（北部地域）で6割を超えて高くなっている。「荷物等を運ぶ必要があるから」は由井・北野（東南部地域）で5割台半ば（55.8%）と高くなっている。（図5-5-3）

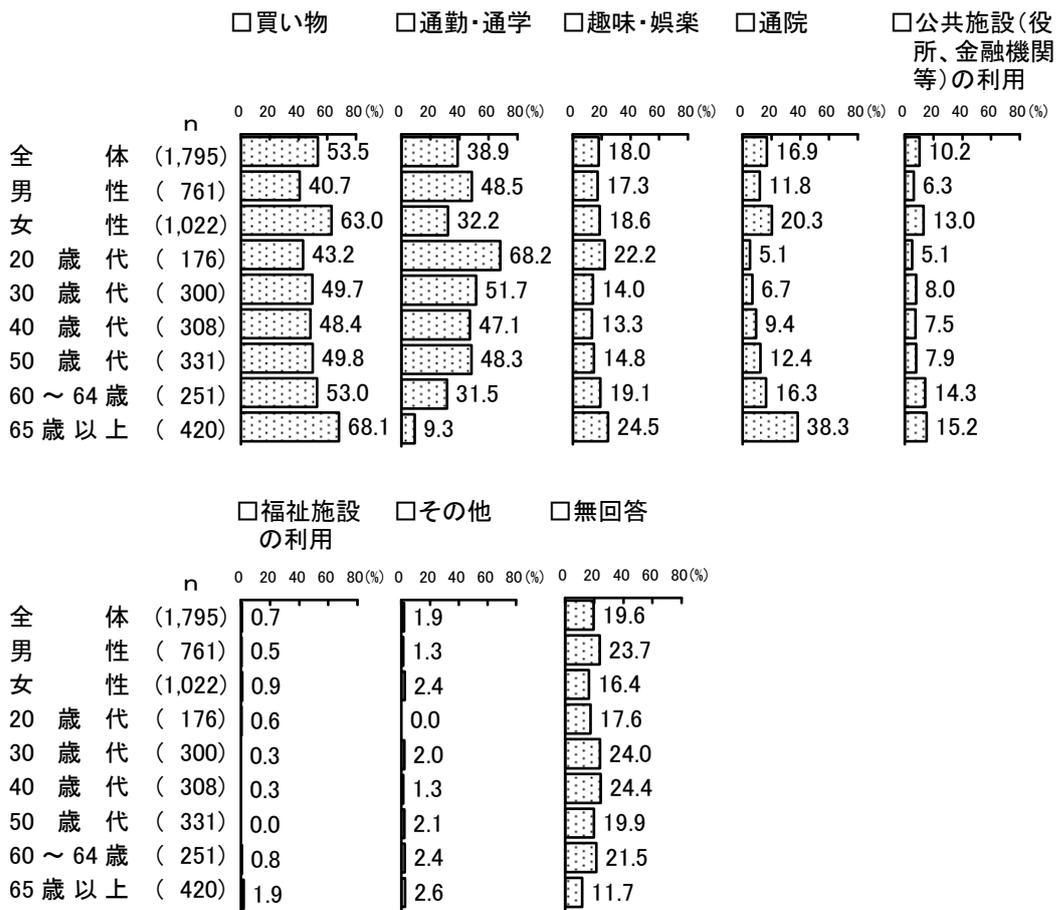
## 5-6 交通手段を利用する目的

◇「買い物」が5割強、ついで「通勤・通学」が4割弱



日頃、主にどのような目的で交通手段を利用しているかについて聞いたところ、「買い物」が5割強(53.5%)と最も高く、ついで「通勤・通学」(38.9%)、「趣味・娯楽」(18.0%)、「通院」(16.9%)、「公共施設(役所、金融機関等)の利用」(10.2%)と続いている。(図5-6-1)

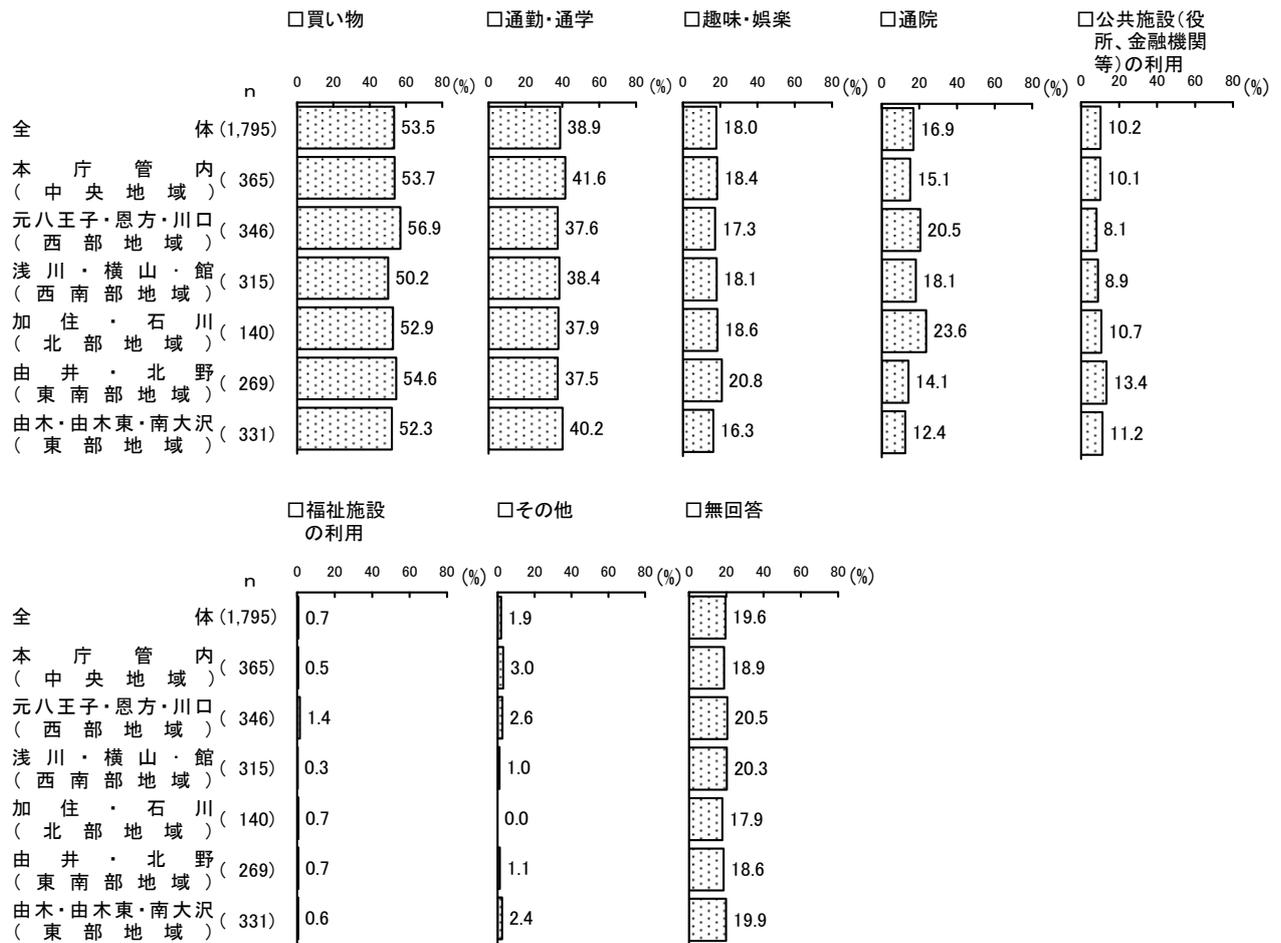
図5-6-2 交通手段を利用する目的—性別・年齢別



性別にみると、「買い物」は22.3ポイント、「通院」は8.5ポイント、「公共施設（役所、金融機関等）の利用」は6.7ポイント、それぞれ女性ほうが高くなっている。「通勤・通学」は男性のほうが16.3ポイント高くなっている。

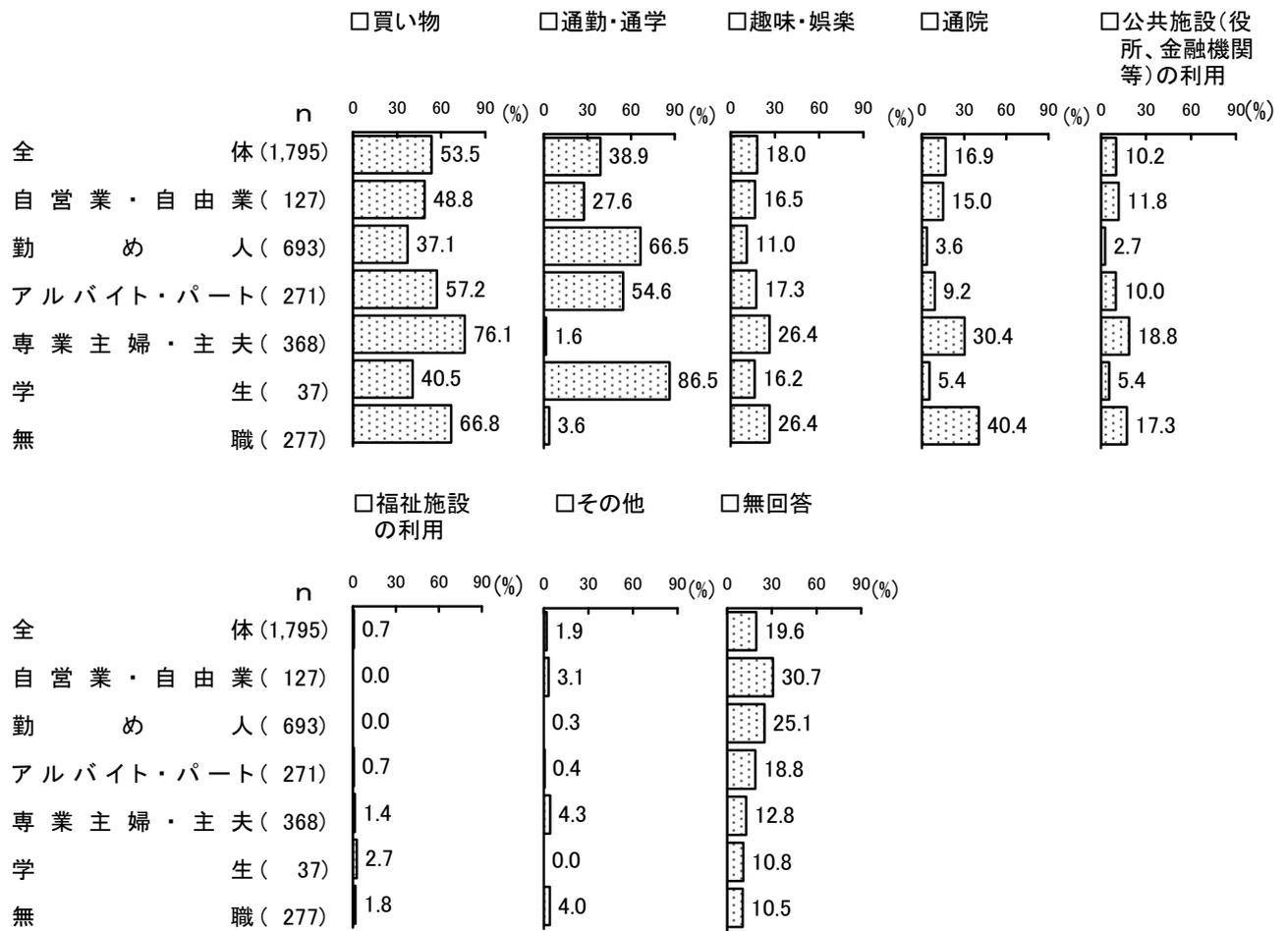
年齢別にみると、「買い物」は65歳以上では7割弱（68.1%）と高くなっている。「通勤・通学」は20歳代で7割弱（68.2%）と高く、「通院」は65歳以上で4割弱（38.3%）と高くなっている。（図5-6-2）

図5-6-3 交通手段を利用する目的—居住地域別



居住地域別にみると、「買い物」はどの地域も5割を超えている。「通院」は加住・石川(北部地域)で2割強(23.6%)とやや高くなっている。(図5-6-3)

図5-6-4 交通手段を利用する目的—職業別



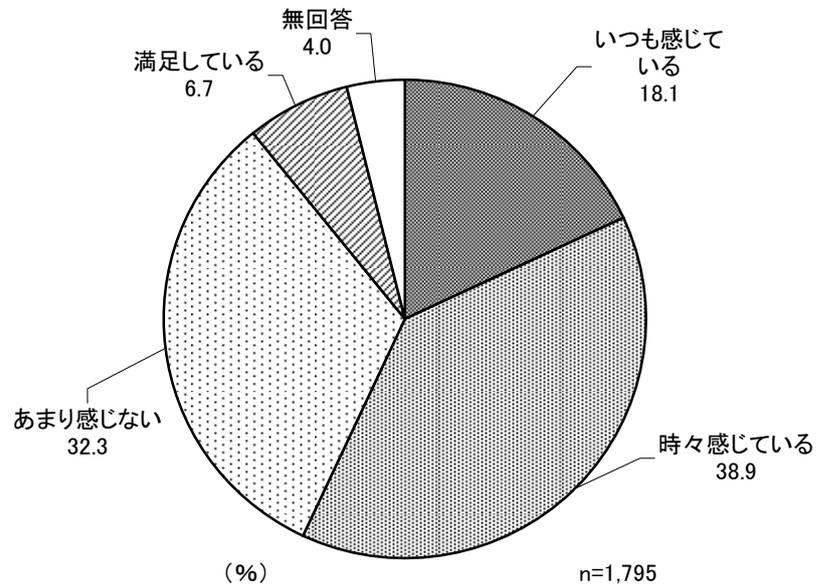
職業別にみると、「通勤・通学」は学生が9割弱（86.5%）と圧倒的に高く、勤め人（66.5%）、アルバイト・パート（54.6%）も5割を超えて高くなっている。「買い物」は専業主婦・主夫が8割弱（76.1%）と高くなっている。（図5-6-4）

## 5-7 交通手段を利用するうえでの満足度

◇『不満』が6割弱

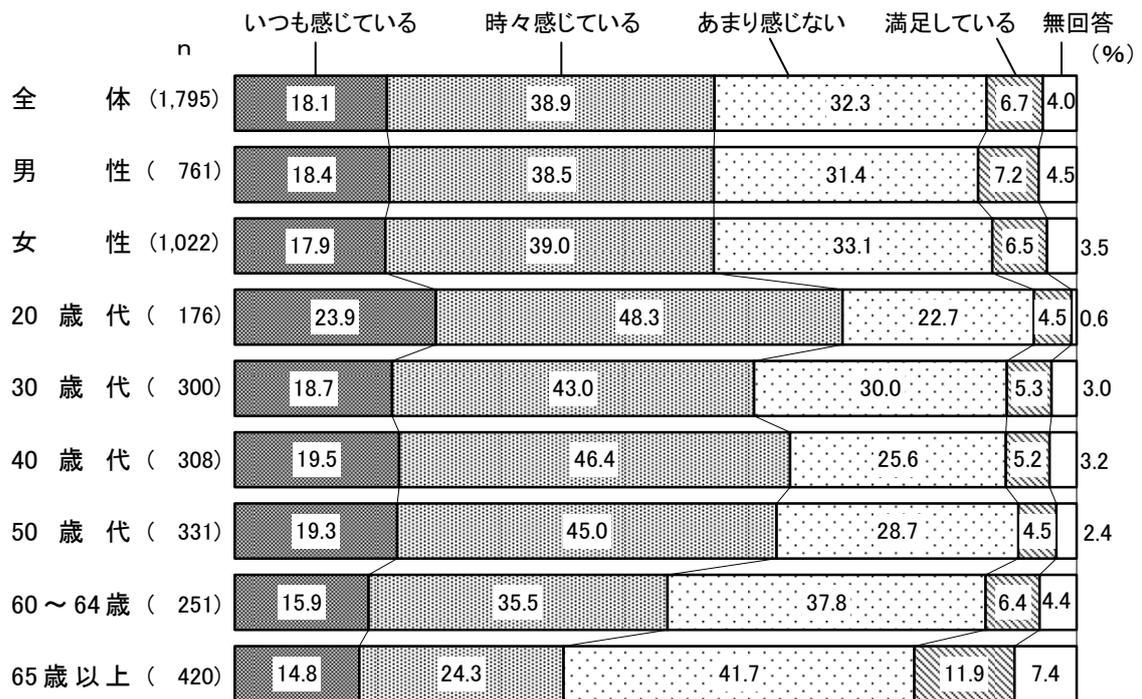
問17 あなたは、交通手段を利用する場合、不満を感じたことはありますか。(○は1つだけ)

図5-7-1



交通手段を利用するうえでの満足度について聞いたところ、「いつも感じている」(18.1%)と「時々感じている」(38.9%)を合わせた『不満』は6割弱(57.0%)となっている。一方、「あまり感じない」(32.3%)と「満足している」(6.7%)を合わせた『満足』はほぼ4割(39.0%)となっている。(図5-7-1)

図5-7-2 交通手段を利用するうえでの満足度—性別・年齢別

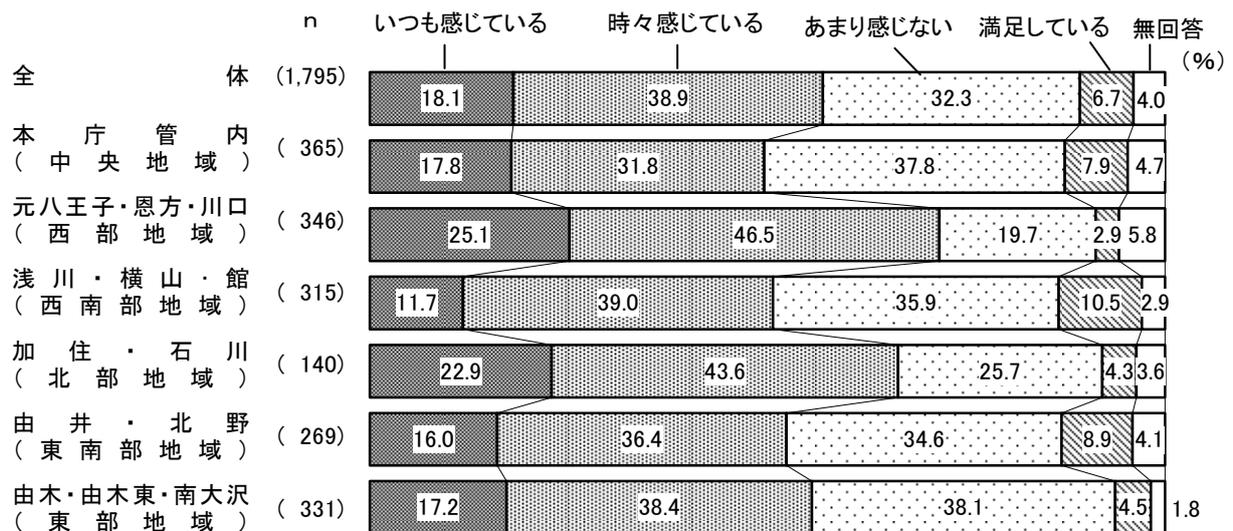


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『不満』は50歳代以下では6割を超えており、20歳代で7割強(71.6%)と最も高くなっている。一方、65歳以上は『満足』(53.6%)のほうが『不満』(39.1%)よりも高くなっている。

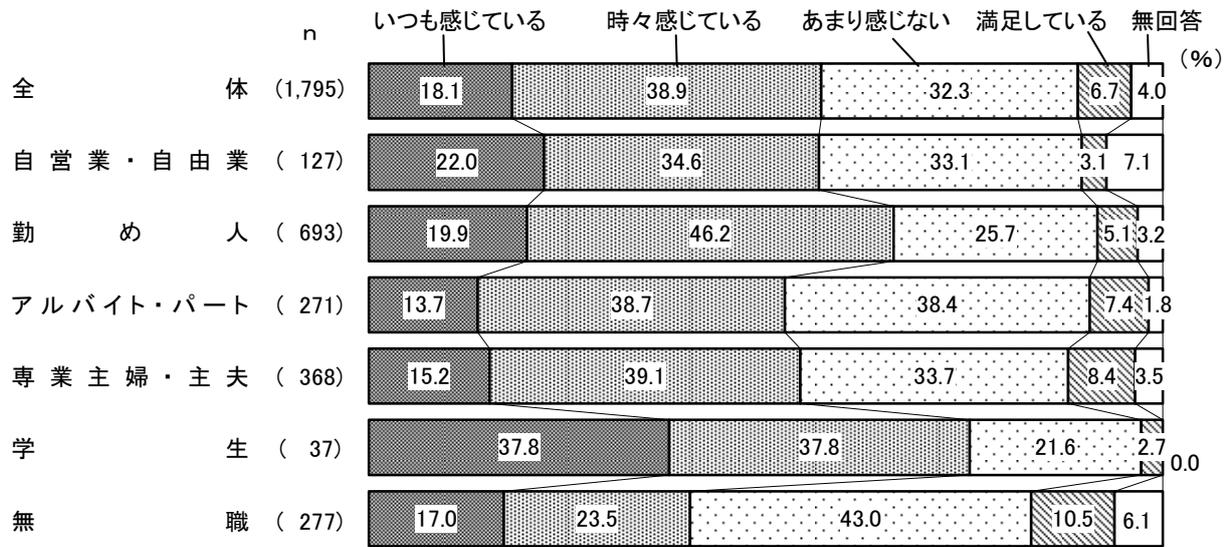
(図5-7-2)

図5-7-3 交通手段を利用するうえでの満足度—居住地域別



居住地域別にみると、『不満』は元八王子・恩方・川口(西部地域)で7割強(71.6%)、加住・石川(北部地域)で7割弱(66.5%)と高くなっている。(図5-7-3)

図5-7-4 交通手段を利用するうえでの満足度—職業別



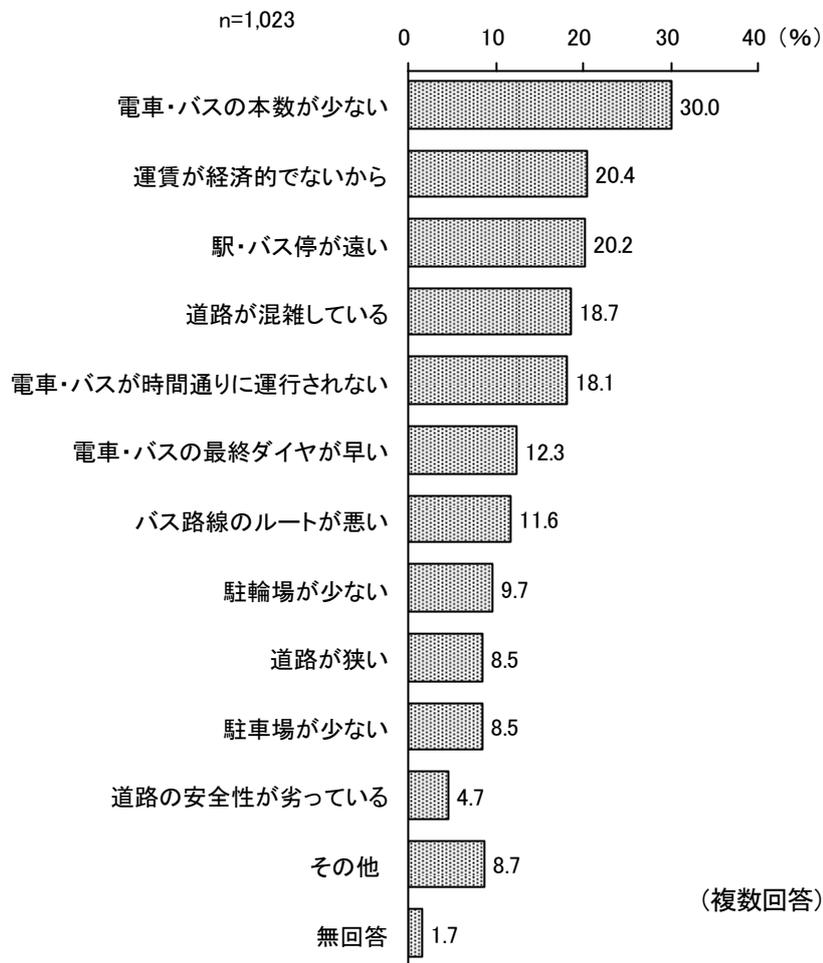
職業別にみると、『不満』は学生で7割台半ば（75.6%）、勤め人で7割弱（66.1%）と高くなっている。一方、『満足』は無職で5割強（53.5%）を占めている。（図5-7-4）

## 5-8 交通手段利用時に不満を感じる理由

◇「電車・バスの本数が少ない」が3割

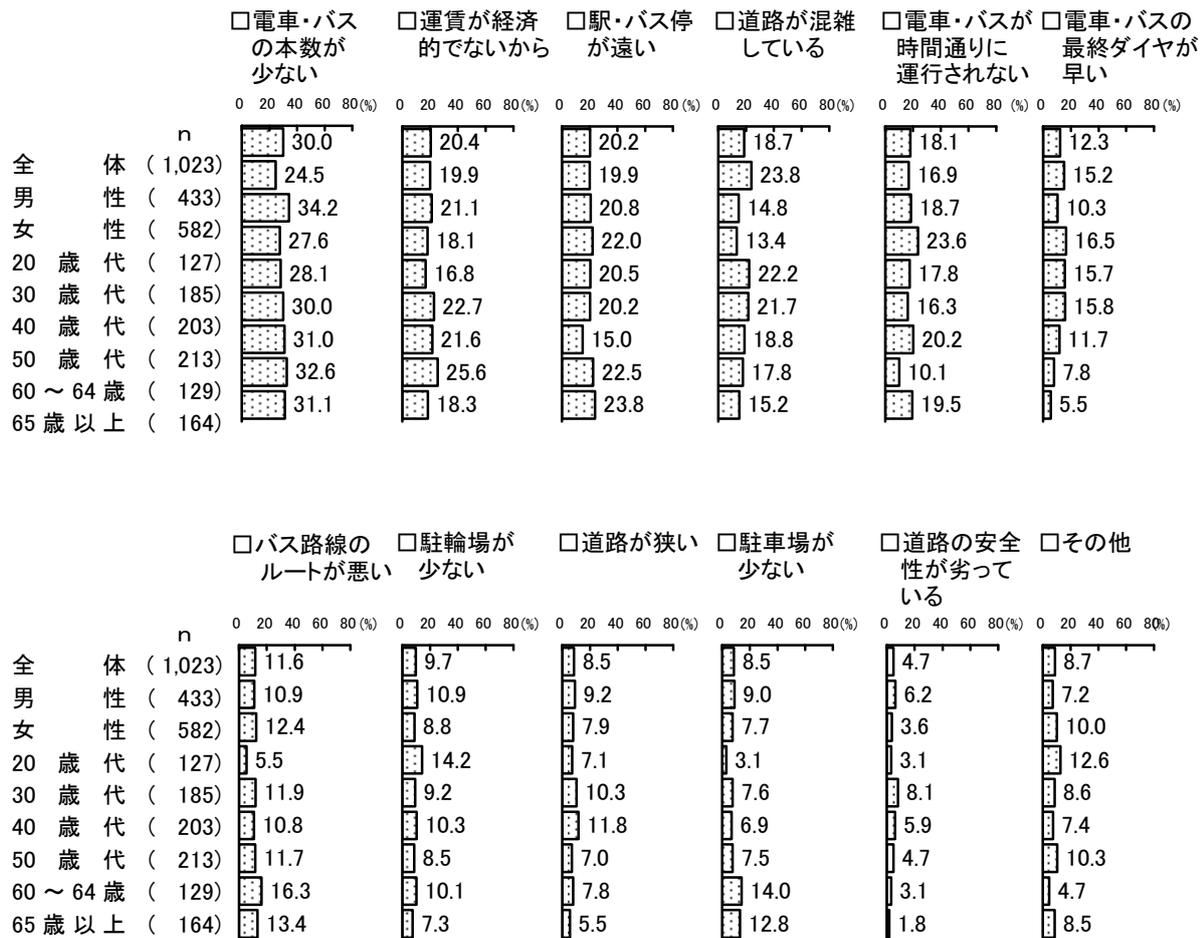
(問17で「いつも感じている」あるいは「時々感じている」とお答えの方に)  
問17-1 交通手段利用時に不満を感じる理由は何ですか。(〇は2つまで)

図5-8-1



交通手段を利用するうえでの満足度で「いつも感じている」あるいは「時々感じている」と答えた人(1,023人)に、交通手段利用時に不満を感じる理由について聞いたところ、「電車・バスの本数が少ない」が3割(30.0%)と最も高く、ついで「運賃が経済的でないから」(20.4%)、「駅・バス停が遠い」(20.2%)、「道路が混雑している」(18.7%)、「電車・バスが時間通りに運行されない」(18.1%)と続いている。(図5-8-1)

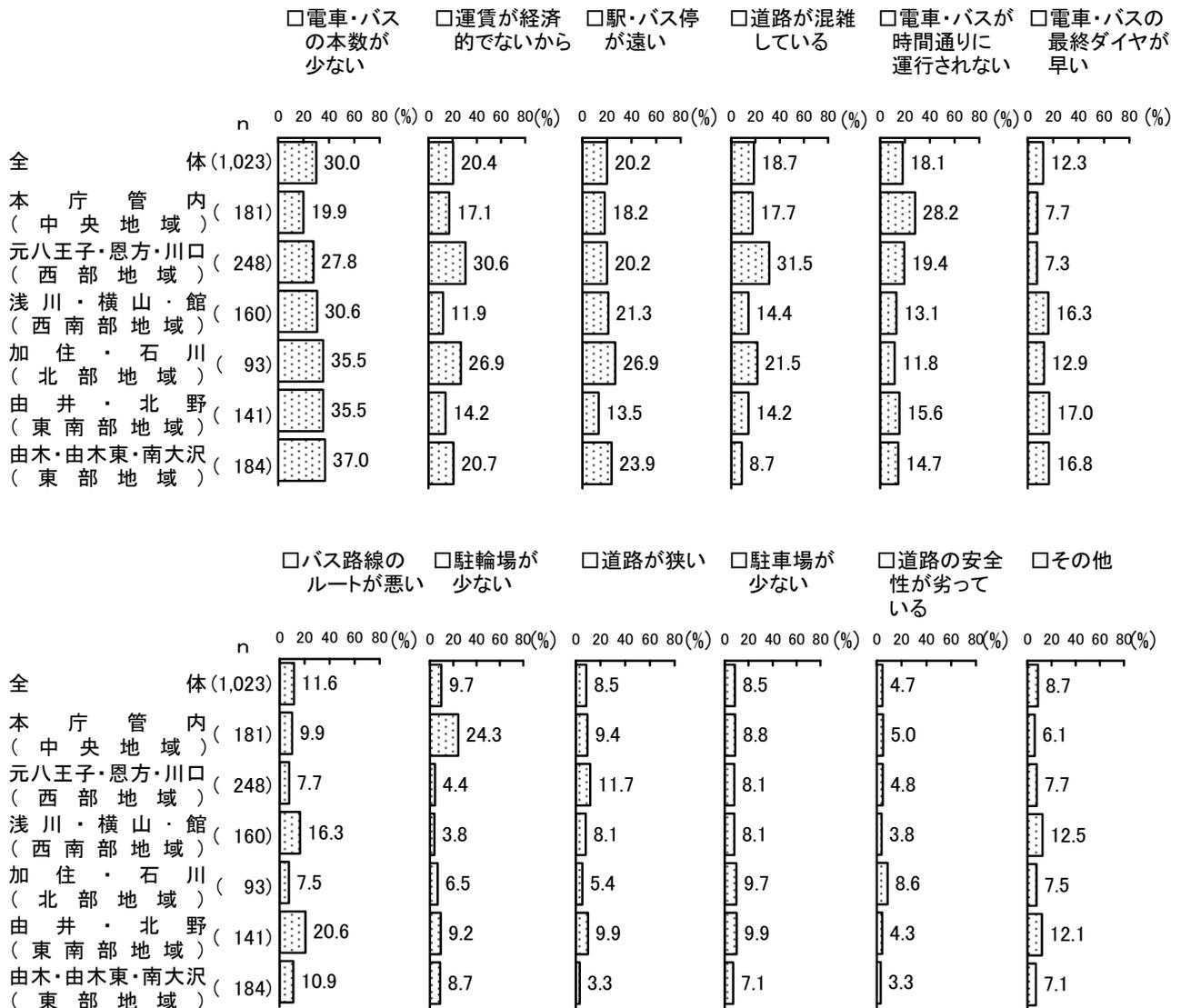
図5-8-2 交通手段利用時に不満を感じる理由—性別・年齢別



性別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は女性のほうが9.7ポイント、「道路が混雑している」は男性のほうが9.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「電車・バスの本数が少ない」が第1位であるが、20歳代は「電車・バスが時間通りに運行されない」、30歳代は「道路が混雑している」、40~64歳は「運賃が経済的でないから」、65歳以上は「駅・バス停が遠い」が第2位となっている。(図5-8-2)

図5-8-3 交通手段利用時に不満を感じる理由—居住地域別



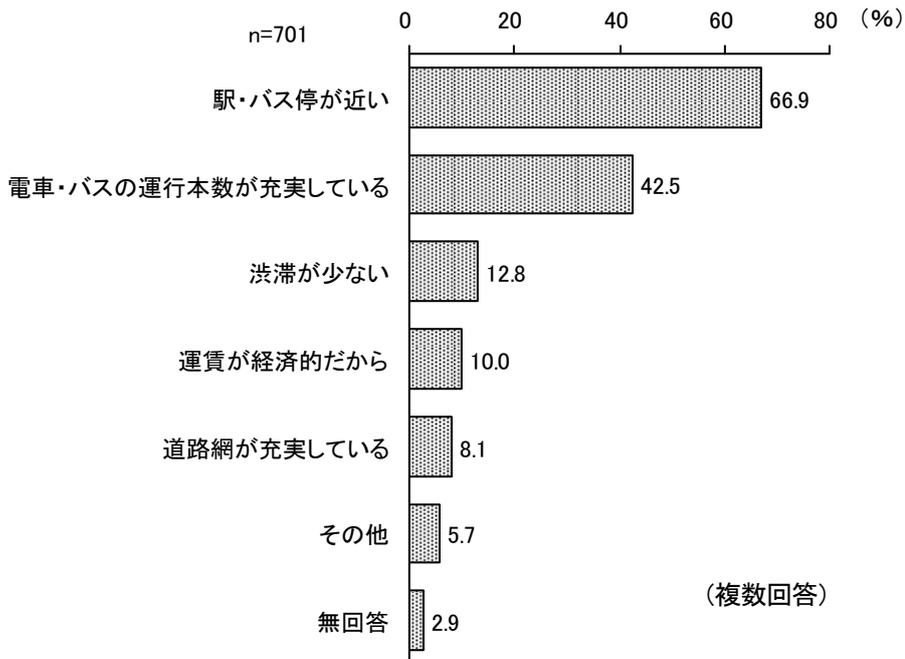
居住地域別にみると、「電車・バスの本数が少ない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱（37.0%）、  
 「運賃が経済的ではないから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）ではほぼ3割（30.6%）、  
 「駅・バス停が遠い」は加住・石川（北部地域）で3割弱（26.9%）とやや高くなっている。  
 また、「道路が混雑している」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で3割強（31.5%）、  
 「電車・バスが時間通りに運行されない」は本庁管内（中央地域）で3割弱（28.2%）と高くなっている。（図5-8-3）

## 5-9 交通手段利用時に不満を感じない理由

◇「駅・バス停が近い」が7割弱

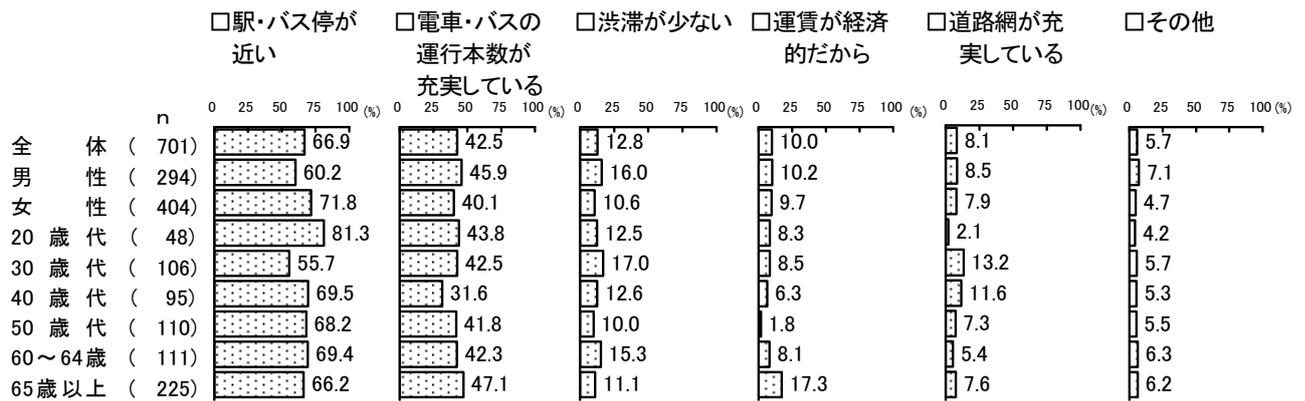
(問17で「あまり感じない」あるいは「満足している」とお答えの方に)  
問17-2 交通手段利用時に不満を感じない理由は何ですか。(〇は2つまで)

図5-9-1



交通手段を利用するうえでの満足度で「あまり感じない」あるいは「満足している」と答えた人(701人)に、交通手段利用時に不満を感じない理由について聞いたところ、「駅・バス停が近い」が7割弱(66.9%)と最も高く、ついで「電車・バスの運行本数が充実している」(42.5%)、「渋滞が少ない」(12.8%)と続いている。(図5-9-1)

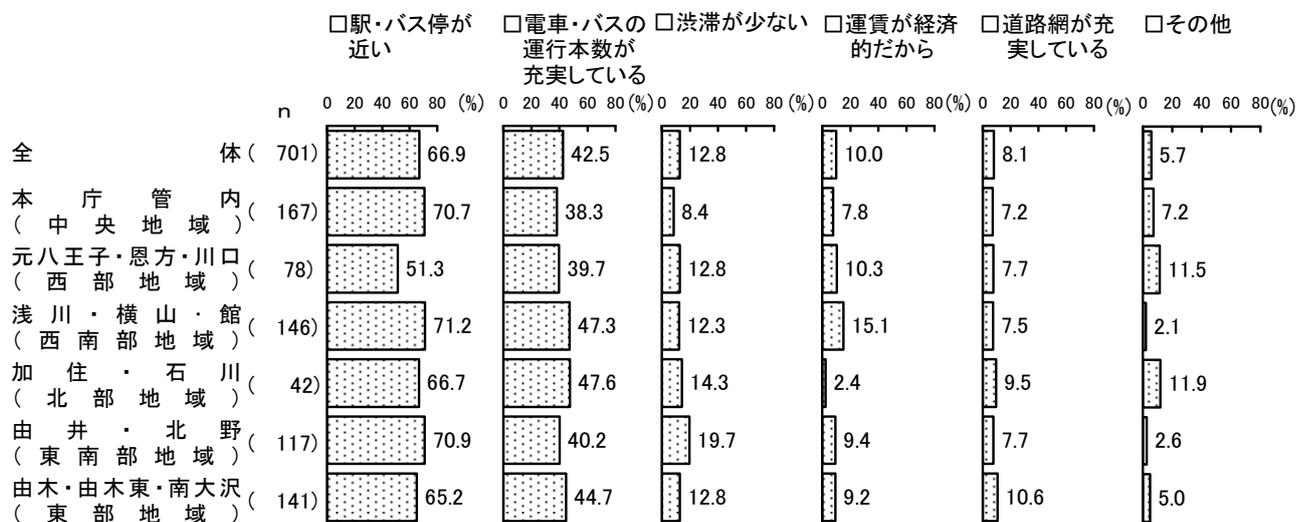
図5-9-2 交通手段利用時に不満を感じない理由—性別・年齢別



性別にみると、「駅・バス停が近い」は女性のほうが 11.6 ポイント高く、「電車・バスの運行本数が充実している」は 5.8 ポイント、「渋滞が少ない」は 5.4 ポイント、それぞれ男性のほうが高くなっている。

年齢別にみると、「駅・バス停が近い」は 20 歳代で 8 割強 (81.3%) と高くなっている。「運賃が経済的だから」は 65 歳以上で 2 割弱 (17.3%) と高くなっている。(図 5-9-2)

図5-9-3 交通手段利用時に不満を感じない理由—居住地域別



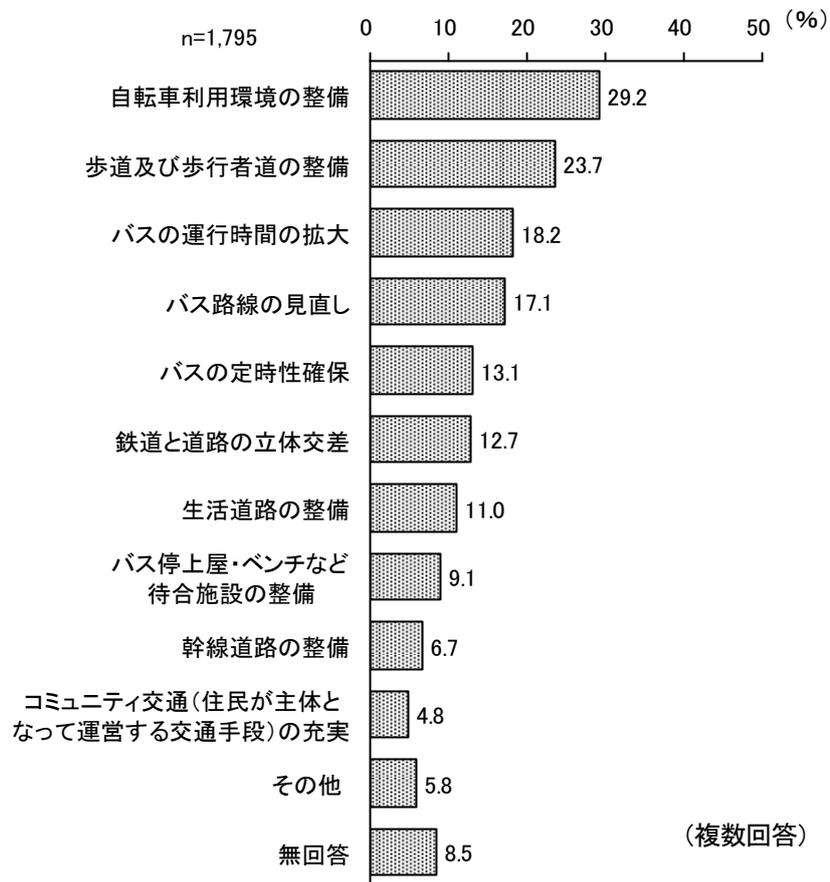
居住地域別にみると、「駅・バス停が近い」は本庁管内 (中央地域)、浅川・横山・館 (西南部地域)、由井・北野 (東南部地域) で 7 割を超えているが、元八王子・恩方・川口 (西部地域) は 5 割強 (51.3%) と低くなっている。(図 5-9-3)

## 5-10 今後の交通環境の整備で期待すること

◇「自転車利用環境の整備」がほぼ3割

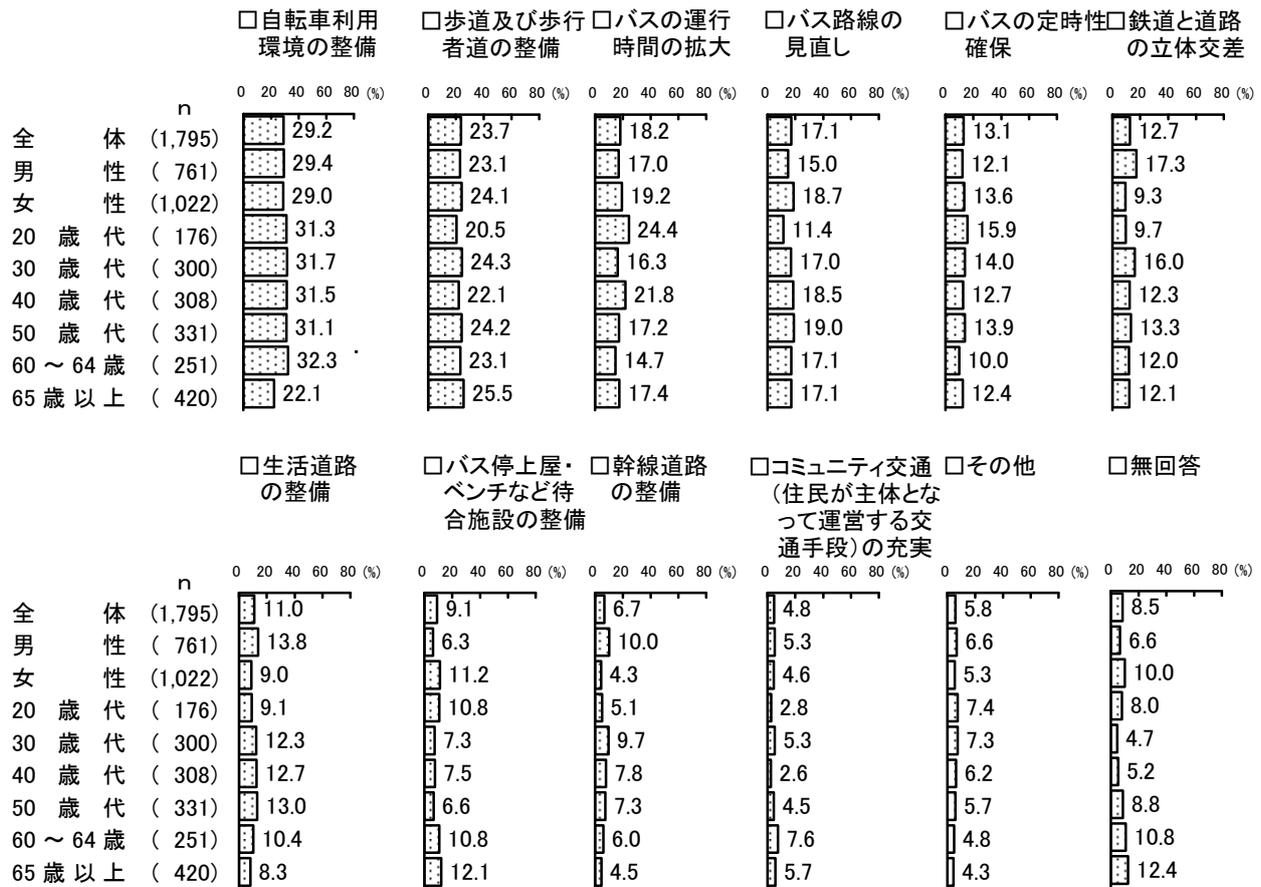
問18 あなたが、今後の交通環境の整備に期待することは何ですか。(〇は2つまで)

図5-10-1



今後の交通環境の整備で期待することについて聞いたところ、「自転車利用環境の整備」がほぼ3割(29.2%)と最も高く、ついで「歩道及び歩行者道の整備」(23.7%)、「バスの運行時間の拡大」(18.2%)、「バス路線の見直し」(17.1%)と続いている。(図5-10-1)

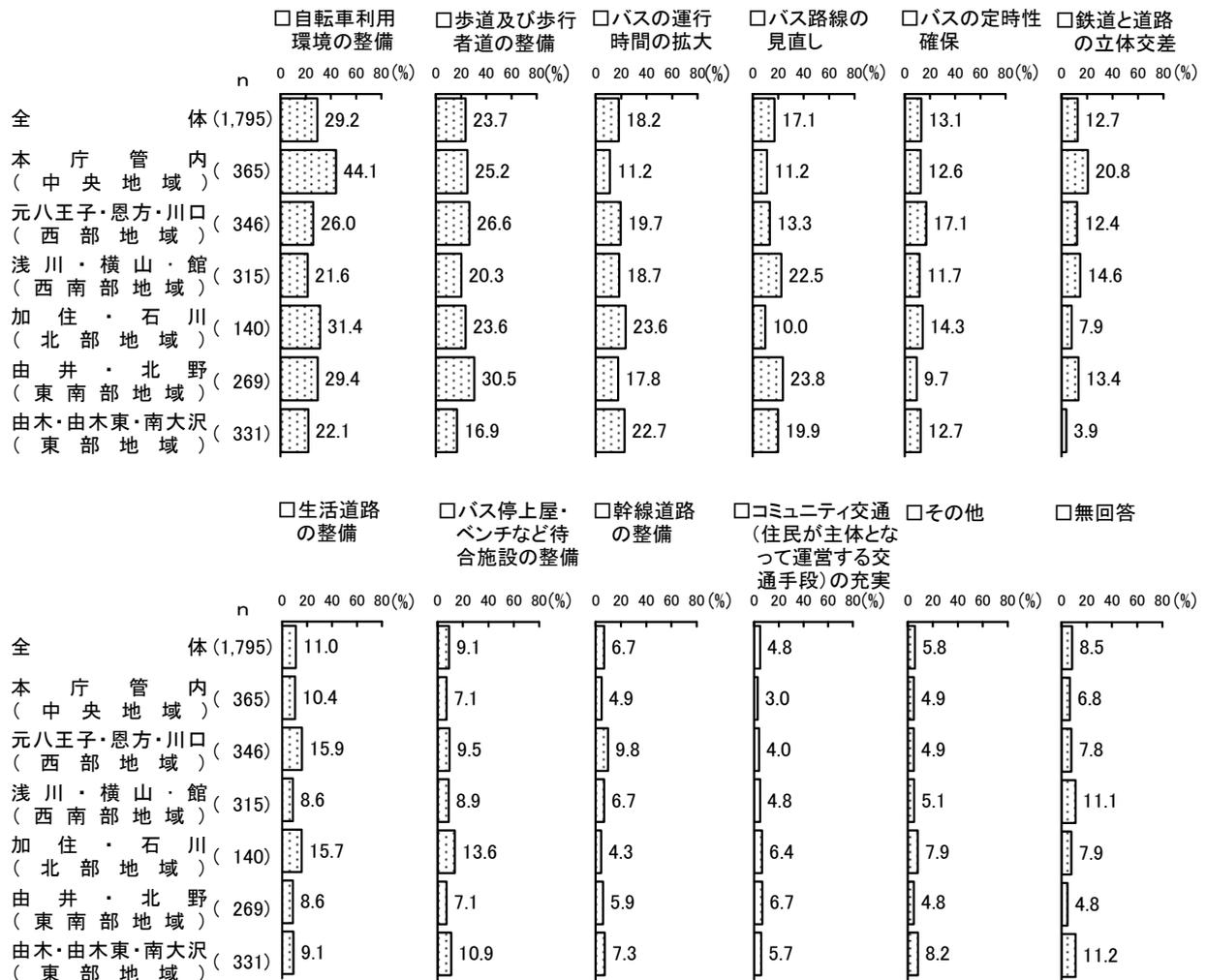
図5-10-2 今後の交通環境の整備で期待すること－性別・年齢別



性別にみると、「鉄道と道路の立体交差」では8.0ポイント、「幹線道路の整備」では5.7ポイント、それぞれ男性の方が高くなっている。「バス停上屋・ベンチなど待合施設の整備」は女性のほうが4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「自転車利用環境の整備」は65歳以上を除いて3割を超えており、「歩道及び歩行者道の整備」はいずれの年齢も2割を超えている。「バスの運行時間の拡大」は20歳代で2割台半ば(24.4%)とやや高くなっている。(図5-10-2)

図5-10-3 今後の交通環境の整備で期待すること—居住地域別



居住地域別にみると、「自転車利用環境の整備」は本庁管内（中央地域）で4割台半ば（44.1%）、「歩道及び歩行者道の整備」は由井・北野（東南部地域）ではほぼ3割（30.5%）、「バスの運行時間の拡大」は加住・石川（北部地域）（23.6%）と由木・由木東・南大沢（東部地域）（22.7%）で2割強、「バス路線の見直し」は由井・北野（東南部地域）（23.8%）と浅川・横山・館（西南部地域）（22.5%）で2割強と高くなっている。

(図5-10-3)